



十文字西 公民館だより

■令和4年度-1号
令和4年 4月 1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

「時代の変化に伴う西地区交流センター」

十文字西地区交流センター長（兼）公民館長 近 孝夫

新年度を迎えてもまだまだ続くコロナウイルスへの対応、加えて、ロシアによるウクライナへの「侵攻」が毎日放映されており、西地区の皆様も精神的にも肉体的にも大変辛い思いしているのではないかと想像されます。世界中の人々が「安心・安全」な生活ができる日を待ち遠しく願っていると思われま

す。ところで、我がふる里「十文字西地区」では、小学校がなくなり地域が大きく変貌しております。加えて、最大の難問である「少子高齢化・人口減少・空き家の増加」等、益々深刻な状況を強いられております。こういう状況を鑑み、地域の活性化と住民の危機意識の向上を願い明るい地域づくりの一役を担うのが地区交流センターの役割ではないかと思われま

す。そこで今回は、地区交流センターについて少し考えたいと思います。現在、横手市で公民館は29館ありますが、交流センター条例が制定され公民館の交流センター化が実現されると、合併等があり22地区の公民館が交流センターになります。

現在は十文字西地区交流センター含む6地域17公民館等の施設において地区交流センター事業を実施しており地域に定着しております。近い将来、条例が改正され全市の公民館等が交流センターとして完全実施になる予定であります。

.....十文字西地区交流センターの現状と将来像.....

【現状】

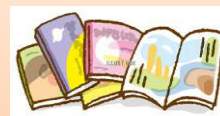
- 地域の拠点となる十文字西地区交流センターは、植田、睦合地区の住民による自主的な活動ができる「自主運営組織」が構成されており、令和4年で3期6年目になります。
- 老若男女等問わず、すべての人が気軽に交流センターを使用できるように様々な面で工夫や改善をしながら取り組んでいます。

【将来像】

- 地区交流センターは、様々な地域課題の解決に取り組み、その実現に向けた検討を住民で行い、実践的で自由度のある機能を備えたものであります。
- 将来的には「自助、共助、公助」のバランスを考え「共生施設」として誰でもが利用できることを目指します。

～ 偉人の言葉に学ぼう ～

◆心に響く「論語」より ※リーダーに必要なもの



「子曰く、君子は周して比せず、小人は比して周せず。」

《意味》君子と小人の差は、実はほんのわずかなところにあります、そのわずかな差こそ、自己修養することでしか乗り越えられない大きな違いなのです。



おしらせ



新年度職員の紹介



- 十文字西公民館長（兼）
十文字西地区交流センター長 近 孝夫
- 公民館・交流センター事務員 吉村美貴子
- 西地区館 事務・施設管理 佐藤 章子
- 西地区館 事務・施設管理 鎌田 康文
- 西地区館 平日夜警 大石 元彦
佐々木 正
新山 清治
- 西地区館 土日祝日勤務 柴田 正男

新年度も地域の皆さまに親しまれる施設であるよう、心の触れ合いと笑顔を大切に対応させていただきます。

皆様には、引き続きコロナウイルス感染予防にご留意しながらご使用くださるようお願いいたします。

- マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底
- 定期的な換気、三密にならない行動
- 利用団体の代表者は参加者を把握 等



★十文字西スポーツ交流センター(旧西中)の開放★



★十文字西スポーツ交流センター（旧西中の体育館・グラウンド）を地域住民の健康づくりと地域間交流促進のために開放しています。健康で元気な毎日を送れるよう施設をご活用ください！

【毎週月曜・木曜 午前9時～午後5時】

※現在使用しているサークルがあります。新たに使用したい方は、担当までお申込みください。日程を調整いたします。

■問い合わせ 電話44-3100（担当 吉村）

●待ちわびた季節の到来 ……

先日、テレビのバラエティ番組で、雪国出身のタレントが4月になれば故郷に帰りたくないと話していました。待ちわびた春の訪れを直接肌で感じたいからだそうです。皆さんはいかがでしょう。節目のとき、新たな出会いを楽しみにしつつ、晴れやかな気持ちで仕事や学校生活をスタート出来ますようお祈りいたします！

お花見にはまだ早いですが、これからは徐々に外出の機会が増えてくるかと思えます。コロナ感染予防に気をつけながら楽しんでくださいね。（事務局）

